

- 各会派・新年のあいさつ ……2、3面
- 第4回定例会
議案の概要と審議結果 ……4面
- 平成29年度上半期
政務活動費・議長交際費 ……4面
- 区政のここを問う!
定例会での代表・一般質問 ……5～7面
- 委員会の活動状況 ……8面

新宿区議会だより

発行：新宿区議会 ☎(3209)1111(代表)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
ホームページ：<http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html>



No. 281
平成30年(2018年)1月1日発行

あけましておめでとうございます



新宿区と富士山

あけましておめでとうございます。区民の皆様にはお健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて、昨年7月の九州北部豪雨により、尊い人命を奪う甚大な被害が発生しました。自然災害は、時に私たちの想定をはるかに超える脅威をもたらすものと痛感しました。世界に目を転じると、テロによる事件が収まるどころを知らず、北朝鮮による核実験やミサイルの発射も、重大な脅威となっています。一方、明るい話題では、秋篠宮家の眞子内親王殿下のご婚約発表や、上野動物園で赤ちゃんパンダの誕生など、心温まる思いに包まれました。区においては、9月に念願の漱石山房記念館が開館し、多くの方に訪れていただいています。また、この先10年間の施策の方向性を示した総合計画が策定され、本年がそのスタートとなるとともに、オリンピック・パラリンピックに向けた取組みも進展します。区議会といたしましても、不透明な社会経済情勢ではありますが、区議会アンケートの結果や日々区民の皆さまから頂く声を踏まえつつ、基本構想でめざすまちの姿を実現するために、安全安心で暮らしやすく、賑わいあふれる新宿のまちづくりに、引き続き努めてまいります。

新年の
ごあいさつ

新宿区議会議長
佐原 たけし



新宿区議会議長 佐原 たけし

トップニュース

第4回定例会で可決した主な議案

「新宿区総合計画の基本的な事項について」など区長提出議案32件を可決

平成30年度から10年間の施策の方向性を示した新宿区総合計画を策定するための「新宿区総合計画の基本的な事項について」を可決しました。この議案は総務区民・環境建設の2つの委員会に係わる内容になるため、10年ぶりに「連合審査会」の形で2委員会合同による審査を行いました。

○「新宿区住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例」を制定
「住宅宿泊事業法」に基づき規定すべき事項及び住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関し必要な事項を定める。

○平成29年度一般会計補正予算(第5号)	76,769千円
社会資本等整備基金積立金	32,664千円
介護保険特別会計繰出金	30,025千円
四谷三栄町地域の住居表示実施に要する経費	6,784千円
夏目漱石記念施設整備基金積立金	3,368千円など

○平成29年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	30,025千円
制度の改正に伴うシステム改修に要する経費	23,748千円
成年後見審判請求事務等	6,277千円



総務区民委員会・環境建設委員会連合審査会

関連記事 4面

新年を迎えて

区民が誇れる新宿のまちに！

自由民主党・無所属クラブ

あけましておめでとうござい
ます。
景気の回復局面は、「いざ
なぎ景気」を超え、戦後2番
目の長さとなります。
このことが経済の好循環を
確かなものとし、新宿の地域
経済が活性化され、豊かさを
もたらすことを期待します。
このような中、新宿区では、
区政の根幹をなす平成30年度
を初年度とする10年間の「新



副幹事長 桑原 羊平 2期
幹事長 池田だいすけ 2期
おぐら 利彦 4期
下村 治生 4期
宮坂 俊文 6期



平間 しのぶ 3期
渡辺 清人 1期
吉住 はるお 3期
ひやま 真一 3期
佐原 たけし 4期

安心して暮らし続けられるよう

住民福祉の向上に取り組みます！

新宿区議会公明党

新年おめでとうござい
ます。
新宿区は、平成30年度から
新しい総合計画をはじめ、健
康づくり行動計画や高齢者保
健福祉計画、教育ビジョンな
ど、各計画がスタートします。
新宿区議会公明党は、誰も
が安心して暮らし続けられる
新宿を目指し、生活者の視点
で働かせて頂きます。
公明党は、人生100年時代へ
向け、「すべての人が輝く」



幹事長 野もと あきとし 3期
副幹事長 赤羽 つや子 5期
豊島 あつし 2期
中村しんいち 3期
有馬としろう 4期



副幹事長 北島としあき 2期
木もと ひろゆき 1期
三沢 ひで子 1期
井下田 栄一 2期

新宿区の財政力を活かし 区民が安心して暮らせる区政に全力！

日本共産党新宿区議会議員団

区民の皆様、あけましてお
めでとうござい
ます。
区政が防波堤となって区民生
活を守ることが益々重要に
なっています。
一方、子どもの貧困や高齢
化の進展、教員の多忙解消な
ど社会問題となっている課題
への対応が求められています。
また、昨年は都議選、衆院
選がありました。安倍政権
の下で今年度は介護保険や国民
健康保険の制度改定による保
険料等の負担増が予想され、
今年も頑張ります。



副幹事長 民栄 あざみ 5期
副団長 近藤 なつ子 6期
幹事長 川村のりあき 4期
団長 沢田 あゆみ 6期



佐藤 佳一 2期
阿部 早苗 5期
田中のりひで 7期
雨宮 武彦 7期

議長 佐原 たけし

副議長 中村しんいち



各会派あいさつ

区民生活にきちんと寄り添い、その想いと期待に一丸となって取り組む

立憲民主党・無所属クラブ

新年おめでとうございます。まず、会派名が新たに「立憲民主党・無所属クラブ」となりましたことをご報告いたします。今後ともよろしくお願いたします。

新宿区では、財政環境が不透明な状況にある中で、次世代や高齢者、生活困窮世帯への支援、災害に強いまちづくりの実現、公共施設が更新時期を迎えたことへの対応、開



副幹事長 久保 広介 2期
〒162-0825 神楽坂6-16 (3260)0669



幹事長 志田 雄一郎 5期
〒160-0007 荒木町8 カインドステージ 四谷三丁目401 (3355)0546



三雲 崇正 1期
〒169-0075 高田馬場1-17-17 山口ビル301 (6380)3185



小野 裕次郎 1期
〒161-0033 下落合1-15-21-604 (6908)0440

催まで3年を切った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたさまざまな準備など、重要な行政需要にしっかりと取り組んでいかなければなりません。

本年も区民の皆様がそれぞれに抱えている問題にきちんと寄り添い、切実な想いと期待に応えるべく会派所属議員一丸となって活動してまいります。

夢のある持続可能な

新宿区政に向けて全力投球！

新宿区民の会

現在の新宿区政は財政的にも安定しており、新たなステージに向けて吉住区政も着実に歩みを進めています。

しかし、国による税制変更やさらなる高齢化社会の進展など、中長期的な視点に立つて考えた場合、すべてを手ばなしに楽観することはできません。

望として大切なかを的確に検討して、具体的な施策について優先順位を考えながら、限られた予算や人的資源をメリハリをつけることで重点的に活用することが求められています。

今後とも区民の目線で積極的に政策提言を行いながら吉住区政を支えつつ区民サービスの充実に向け全力で取り組み覚悟であります。



えのき 秀隆 6期
〒161-0032 中落合4-6-11 (5983)8811



幹事長 のぶ ケン 5期
〒161-0033 下落合3-16-15-701 (3954)3573



副幹事長 ふじ川 たかし 1期
〒169-0072 大久保2-24-7 (3232)6858

区議会議員の寄附行為は法律で禁止されています

1 公職選挙法により、区議会議員等の政治家(候補予定者含む)は、年賀状等の時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことを禁じられています。

2 選挙区内の新年会、祭り、学校行事等でお金や物を贈ることも一切禁止されています(開催通知に会費の金額が明記されている場合は除く)。また、有権者

(実行委員会、各種団体等)が政治家に対して寄附を求めるとも禁じられています。区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



くらしといのちを守る区政実現のため

今年も全力でがんばります

社民党新宿区議会議員団



かわの 達男 7期
〒169-0075 高田馬場 1-20-10-303 (3208)8340

平成30年 第1回 定例会のお知らせ

★2月15日から3月16日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

本会議 2月15日・20日・21日 3月16日

予算特別委員会 2月22日～3月7日

常任委員会 3月9日・12日

特別委員会 3月13日・14日

- ★ぜひ傍聴にいらしてください。
- ★手話通訳者または要約筆記者の配置もできます。事前に議会事務局 (TEL:5273-3534 FAX:3209-9995) までご連絡ください。
- ★本会議・予算特別委員会は、議会ホームページでインターネット中継(生中継・録画)を実施します。ぜひご利用ください。

区民の声をかたちにする新宿を目指します！
誰もが活躍できる新宿を目指します！
新宿の明るい未来を創る会



鈴木 ひろみ 2期
〒162-0041 早稲田鶴巻町556 山口ビル2階 (3209)1635



伊藤 陽平 1期
〒161-0031 西落合1-21-7 レオドールミレア 新宿西落合105 (6667)4427

区議会から改革を推進し
子どもの未来に責任をもてる新宿区へ
スタートアップ新宿

凡例



会派役職 氏名
当選期数
住所
電話番号

議案の概要と審議結果 (賛成...○、反対...×)

平成29年第4回定例会 (11月29日~12月11日)

会派略称 自無ク=自由民主党・無所属クラブ 公 明=新宿区議会公明党
共 産=日本共産党新宿区議会議員団 民無ク=民進党・無所属クラブ
新宿会=新宿区民の会 社 民=社民党新宿区議会議員団
スタ新=スタートアップ新宿 未来会=新宿の明るい未来を創る会

Table with columns: 議案名, 概要, 自無ク, 公明, 共産, 民無ク, 新宿会, 社民, スタ新, 未来会, 議決結果. Rows include budget items and ordinance amendments.

平成29年度上半期 政務活動費の各会派収支報告 (平成29年4月~9月分)

Table showing income and expenses for various political parties (e.g., 自由民主党, 新宿区議会公明党) with columns for party name, income, and various expense categories.

○収入... 区が会派に対して交付した金額。月額15万円に会派の人数を乗じた金額です。
○年度末に生じた残額(収入-支出合計)は、区へ返還されます。
●政務活動費... 地方自治法に基づき「新宿区政務活動費の交付に関する条例」を制定し、議員(会派)の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、区が会派に交付しています。

平成29年度上半期 議長交際費支出状況 (平成29年4月~9月分)

○議長交際費とは
円滑な議会運営を図るため、議長が議会を代表して各種行事や接遇・儀礼など対外的な活動をするために支出する経費です。
○毎月の執行額について
月ごとの集計額を翌月に区議会ホームページで公表しています。平成26年4月分以降をご覧ください。

Table showing the breakdown of Speaker's Entertainment Expenses (議長交際費) by category (e.g., 町会, 地域団体, 商店会) and amount.

他都市からの視察 (平成29年7月~12月)

新宿区には、全国の議会(委員会・会派・議員)が施策調査のため視察に訪れています。

Table listing inspection dates, names of visiting assemblies (e.g., 岡山県岡山市議会, 愛知県名古屋市), and the content of the inspections.

区政のこころを問う

新宿区総合計画(案)と組織等のあり方について

自由民主党・無所属クラブ

代参 豊島



吉住はるお

質問 複雑・多様化する行政需要に対し、適切で安定した区民サービスを提供するには、効率的な組織運営が不可欠。①(ア)少子高齢化が急速に進む中、様々な形のダブルケアにより、区民が複数窓口を頻繁に訪れなければならぬ時代を、どのように考えているのか。(イ)「組織の狭間」「制度の狭間」をつくらないための取り組みは。②次期住宅マスタープランにおける近居・同居等の住宅施策のあり方について、現時点での具体的な検討状況と制度設計は。

答弁 ①(ア)庁内横断的な対応が必要であると認識。丁寧かつ的確な対応、個々の状況に応じた柔軟な対応など、今後も、区民の視点に立って、区民サービスの向上を図っていく。(イ)各部の経営会議や区政運営会議において情報共有し、庁内横断的な調整を行うなど、狭間をつくらないよう取り組んでいる。②近居・同居等による引越し代など諸経費への助成を検討しており、だれもが安心して住み続けられる住環境の形成を図っていく。



親世代と子世代が住み続けられる住環境を

防犯対策の推進による安全・安心なまちづくりについて

質問 地域社会においては、いつの時代にあっても常に安全・安心は大きな関心事。①振り込め詐欺など、新たな「安心・安全」に関わる問題・課題も発生しているが、区における現状と今後の取り組みは。②「新宿区住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例(案)」は、周辺環境の悪化に関する区民の不安・心配に配慮されるものとの認識で良いか。③新型インフルエンザ等の対策も重要と考えるが、区の体制はどのように整備されているのか。

答弁 ①自動通話録音機を500台購入し、区内警察署と連携しながら無償で貸出している。今後も警察と情報共有しながら、安全で安心なまちの実現に向けて取り組んでいく。②住宅宿泊事業法や政省令に加えて、都市型民泊に関する新宿区ルールを定めることで、区民の不安や心配に配慮していくものと認識している。「区民の生活環境の悪化を防止すること」を主たる目的とし、無届民泊が潜在化することや無届民泊に配慮した内容としている。③他区に先駆け「新宿区新型インフルエンザ対策連絡会」を設置して関係機関との連携を図っており、「新宿区新型インフルエンザ等対策地域医療包括BCP」も策定し、発生時に備えた体制整備を進めている。

地域経済の活性化について

質問 ①新宿区を取り巻く社会経済状況は変化し続けており、今後10年の変化はさらに不透明さを増していくことが予想されるが、新宿区における地域経済の活性化の課題をどのように捉えているのか。②(ア)不動産の賃貸業は大都市新宿区における地産産業という位置付けも可能と思うが、区長の所見は。(イ)「ピルオーナー」や「アパート賃貸

業」の方々に共通する課題として、空き室の増加や改築費用の負担などがあるが、区として施策を図っているのか。③「新宿区中小企業の景況」では、経営上の問題点として人手不足が第2位に上がっているが、区における支援状況は。

答弁 ①「新宿区産業と企業の事業活動に関する調査」の結果から課題を捉えており、地域経済を支える商店街の活性化も引き続き課題と捉えている。②(ア)新宿区では企業の集積や歴史的な背景を踏まえ、染色業と印刷・製本関連業を地場産業と位置付けており、不動産賃貸業は区の特徴的な産業として捉えている。(イ)空き店舗情報サイトによる情報提供、不動産賃貸業を営む方を対象とした改修・改築等の資金融資などを通して支援を行っている。③「U29就職マッチング支援事業」や「女性の活躍推進企業サポート事業」などを実施しており、今後も地域経済を支える区内中小企業の人材確保に真摯に取り組んでいく。

子育てしやすいまちの実現を

新宿区議会公明党

代参 豊島



豊島あつし

質問 区は子育てしやすいまちの実現を基本目標とし、東京をリードしてきた。「女性の活躍推進法」の施行、育児給付金の延長等により保育サービスの需要の更なる増大が予測される。①待機児童解消に向け、受け入れ枠拡大目標の進捗状況は。②国

業」の方々に共通する課題として、空き室の増加や改築費用の負担などがあるが、区として施策を図っているのか。③「新宿区中小企業の景況」では、経営上の問題点として人手不足が第2位に上がっているが、区における支援状況は。



小児平日夜間診療のさらなる充実を

住宅施策での更なる工夫を

質問 特定住宅は中堅所得者層の子育てファミリー世帯支援を目的としている。空き住戸を解消し、適切な収入を安定的に得ることが重要で入居要件の一部緩和や、周知方法の工夫を既にしている。①更なる入居促進のため、(ア)所得制限を引き上げの検討をしては。(イ)現在必要とされている連帯保証人や、敷金等を見直し、入居希望者の初期負担感を解消すべき。②子の出生と成長や、子育てと介護の両立など、ライフステージに応じた住み替えを要する子育て世帯への居住支援は、子育て支援にも繋がる総合的な支援となり、定住促進に効果があるのでは。

答弁 ①(ア)共働きの増加により世帯所得が上昇傾向なので、入

所希望者の対象拡大のため、引き上げを検討していく。(イ)保証会社の利用による家賃等債務保証制度導入や、敷金の見直しを検討していく。②ライフスタイルの変化による住み替えや、親子が近居・同居し互いに支え合うことは、住まいの安定確保に重要なこと。一定の条件のもと、引越し代等の助成を検討していく。

区の魅力を発揮した観光施策

質問 訪日客数が増え続ける中で、観光施策は重要な役割を占める。①観光施策の現状と今後への認識は。②新宿観光案内所のスタッフの拡充が必要では。③友好都市の長野県伊那市から寄贈された、新宿東南口駅前広場のタカトウコヒガンザクラに関するイベントを、桜の開花時期にあわせて開催してはどうか。④海外へ向け新宿の魅力を発信し、国際観光都市としてのブランド力を向上するための取組みは。

答弁 ①賑わいを創出し、地域経済の活力を生む原動力となる観光施策は持続的に発展し続ける新宿を実現する柱と認識。観光施策にハード・ソフトの両面からオール新宿で取り組む。②利用者の状況を踏まえ、スタッフを適切に配置する。③伊那市観光協会と新宿観光振興協会とで協力して、イベントの企画を調整中。伊那市のPRと共に、区の新たな桜スポットを観光案内所と併せてPRしていく。④外国人旅行者向け情報誌への観光情報掲載など、自国にいなながら新宿を知る機会を創出し、知名度や認知度を向上させる。

次期新宿区総合計画等について

日本共産党新宿区議会議員団 代表質問



あざみ民栄

質問 次期総合計画の個別施策の内容が不十分な項目について、更なる検討・改善を求める。

①学童クラブの待機児童と定員超過への対応は、「ひろばプラス」ではなく、学童クラブの定員拡大・増設を。②人権・多様性の尊重として、LGBT等性自認や性的指向により困難を抱える区民への支援が強く求められている。基本計画に施策を明確に示すべき。

部署への人員配置、関係機関との連絡体制の構築を。

回答 ①規制強化による無届出民泊の増加を危惧し、住居専用地域は全日禁止ではなく期間制限とした。旅館業法で営業可能な商業地域等は、条例のルールで適正な運営を確保する。②京都市の事例で民泊の実態把握は困難と認識。ルールブック等で制度の周知と届出の促進に努める。また、健康部の職員体制の充実、民泊事業者の公表、国のコールセンター機能を活用した苦情・相談体制の整備、関係機関との連携等で今後の課題に対応していく。

新たな教育ビジョンについて

質問 ①新たな教育ビジョン(素案)には、最近の教育環境を取り巻く課題への対応が盛り込まれた。目標実現には、教員の多忙解消が必須である。時間外労働の過労死ライン超え解消及び年度毎の数値目標を。またICTを活用した出勤管理やインターネット会議で、労働時間削減の取組みを。②課題の根本的な解決に向け、国や都に全学年の少人数学級の実施の要望を。③個別事業に自治基本条例を生かした主権者教育の位置付けを示すべき。

回答 ①教育委員会職員と学校代表とのPTで時間外在校時間過労死ライン超過の解消や数値目標、会議の在り方等を検討する。可能なものから、順次業務

質問 ①区独自の条例では、住居専用地域での月曜日正午から金曜日正午までの民泊を禁止するとしているが、全日禁止すべき。商業地域や近隣商業地域にも多くの住居があるので、一定の日数制限を。②条例に基づく指導の徹底には、施行前に民泊の実態を把握しておくことが必要。届出の受付事務や苦情・相談への対応に備え、今から担当

改善に取り組む。②少人数学級は、質の高い教育の提供に有効と考え、引き続き国や都に要望する。③実際の投票箱を使った中学校生徒会役員選挙等と関連付け、自治基本条例のパネルレットを活用した学習を実施。パブリック・コメントの意見とあわせて主権者教育について検討する。

民泊の適正な運営について

民進党・無所属クラブ 代表質問



志田雄一郎

質問 違法民泊が都心部において大きな社会問題になっており、区に寄せられる苦情や相談も年を追うごとに増えている。今定例会では、民泊の「新宿区ルール」である条例が上程された。これにより、地域住民の不安や生活上の迷惑行為が解消されることを期待する。①違法民泊等に対応するための職員体制を強化して、しっかりと対応すべきでは。②条例には「周辺地域の住民に対する説明等」とあるが、周辺地域の住民の範囲は。③条例の区民への周知方法は。

回答 ①職員体制等を強化し、関係部署間の情報共有を行い、全庁的な取り組みで対応する。②周辺地域の住民の範囲を定めるにあたり、国家戦略特別区域法や今後、国から示されるガイドライン等を参考に検討していく。③わかりやすいパンフレットやルールブックを作成し、制



教員の多忙を解消し、質の高い教育を

外国人観光客への医療体制

度の理解を図る。

質問 ①日本の暑さは高温多湿のため、外国人観光客に向けても熱中症への注意喚起が必要ではないか。②デング熱や腸チフス等の輸入感染症への対応は。

回答 ①ウェブサイトやSNSを活用した情報発信や多言語に対応した救急医療体制や外国人受け入れ医療機関の充実など国の取り組み案に、積極的に連携していく。②保健所が患者発生届を受けた際には、速やかに訪問、調査し、感染拡大防止を図る。



真夏のオリンピック、熱中症への注意喚起を

学校給食について

新宿区民の会 代表質問



のづけん

質問 学校給食の無償化の是非や給食費の未納などが議論される中で、給食が「おいしい・まずい」といった情報も話題となっている。区の学校給食の調理業務は民間委託され、安全性の確保や栄養価の基準を満たすことは自明の要件であり、「おいしさ」の観点からの業者の選定や生徒への調査を行う考えは。

回答 児童生徒への嗜好調査は実施していないが、各校の栄養

士が児童生徒、保護者の意見や、残食率の確認などを参考に「おいしい給食」の提供に取組んでいる。



おいしい給食で子どもたちに笑顔を

自殺対策のさらなる推進を

新宿の明るい未来を創る会 代表質問



鈴木ひろみ

質問 ①改正自殺対策基本法第17条の「困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等における対処の仕方を身に付ける」ための教育を義務教育課程のすべての子どもに提供すべきでは。②若者に対する自殺対策は。

回答 ①「SOSの出し方に関する教育」について、小学校では「生命の尊さ」を、中学校では心の健康を保つための欲求やストレス等への対処の仕方を学んでいる。教員についても関連する研

修の充実を図る。②若者向けのメンタルヘルスや支え手の支援を行っている区内NPOと連携するとともに、若者に届きやすい相談窓口の周知方法を検討し、相談を受けた人も支援していく。



気づき、相談、見守りで若者の自殺をなくそう

教員の長時間労働をなくすために

社民党新宿区議会議員団

代表質問



かわの達男

「教員の勤務実態調査」の結果では、時間外労働は月80時間の過労死ラインを超えている。

①校長は教員の勤務実態を把握しているのか。②20年度から5・6年生で外国語が教科化されるが、対応は。③教員の負担を軽くするためには、少人数学級の拡大や教員定数の拡大が有効と考えるが。④長時間労働の削減に向けた対策は。

①PTを設置し客観的な把握方法を検討する。②外国人英語教育指導員の配置に加え、デジタル教材の活用を検討。③配置基準の見直し等を含め、都に働きかける。④具体的な方策を検討し、教員が業務に専念できる環境の確保に取り組んでいく。



教員の負担軽減を!

インターネット上の選挙情報充実を

スタートアップ新宿

代表質問



伊藤陽平

選挙期間中アクセスの集まる選管HPで、候補者の情報へアクセスできるように、選挙管理委員会で候補者まとめコンテンツを作成するべきでは。

①PTを設置し客観的な把握方法を検討する。②外国人英語教育指導員の配置に加え、デジタル教材の活用を検討。③配置基準の見直し等を含め、都に働きかける。④具体的な方策を検討し、教員が業務に専念できる環境の確保に取り組んでいく。

自動車の新宿ナンバー導入を

新宿ブランドの確立にナンバー導入は有効。まず区民



WEBを活用した選挙公報で若者の政治参加を推進

が、現在の練馬ナンバーをどのように考えているか意識調査が必要では。

練馬ナンバーに関する区民意識調査の予定はないが、国の動向を注視し、ご当地ナンバーに関する情報収集などを行う。

一般質問



渡辺清人

「自殺対策について」

「自殺総合対策大綱」に地域レベルの実践的な取り組みを、PDCAサイクルを通じて推進するとあるが、それを踏まえた区



三沢ひで子

小学校児童と外国人との交流

約43,000人の外国人が暮らし、観光客も年々増加している新宿区では、お互いの文化的違いを認め合い、一人ひとりが活躍で



近藤なつ子

住宅確保要配慮者対策について

改正住宅セーフティネット法では、住宅確保要配慮者への家賃低廉化には区による居住支援協議会の設置が必要である。



久保広介

高齢者の健康施策の充実を

高齢者がいつまでも地域の中で豊かな気持ちで過ごしていくためには、健康寿命を延ばす様々な施策が重要である。計

における自殺対策計画の策定は。今後示される国の「市町村自殺対策計画の手引き」や地域の実情に応じた「地域自殺対策政策パッケージ」、都の自殺対策計画等を参考に、区の現状を踏まえた計画を策定し、実践的な取り組みを推進していく。

多文化共生がまちの新たな創造に繋がる。日本語学校等の学生と区内児童生徒の交流は、ネイティブな外国語に接するなど貴重な機会となるのでは。

地域協働学校の仕組み等を活用した交流の支援と国際理解・外国語教育を積極的に推進。

また、供給促進計画を持てば登録基準の強化・緩和も可能となる。急いで居住支援協議会を設置し供給促進計画を持つべき。

居住支援協議会や供給促進計画を含めた住宅確保要配慮者の円滑な入居に向けた制度のあり方を検討する。

画策定後も「新宿区健康づくり庁内推進会議」を継続し、区全体で取り組んでいくべきでは。会議を継続し、さらに福祉部・健康部による健康施策の検討組織に、地域コミュニティや生涯学習スポーツを所管する部署も加え、全庁的に推進していく。



えのき秀隆

新宿会

スマートフォンが世界に繋がりにSNS利用には保存・拡散し、削除できない等のリスク学習が大切である。区は情報モラル教育を



桑原羊平

民泊の条例制定に向けた意見と対応について

条例制定に向けた、新宿ルールに関するパブリックコメントや民泊問題検討会議での主



野もとあきとし

安全・安心のまちづくりを

①新大久保駅のバリアフリー化に伴うエレベーター設置補助と駅西側区道の歩行空間の形成の予定は。②桜美林大学新



雨宮武彦

衆議院小選挙区制の廃止を

10月の衆議院議員選挙で区内の小選挙区が分割され、無効票が相当数あった。有権者の意思を無視した分区はやめ、得



ふじ川たかし

安倍内閣の人づくり革命

安倍首相は、所信表明で「人生100年時代」を見据え、経済社会システムの改革に挑戦すると宣言し、「人づくり革命」で

教育課程に位置づけ、学校での実施や家庭へ防犯啓発冊子等を配付している。効果と現状認識は。

毎年、児童・生徒にアンケート調査を実施し、取り組み効果が着実に表れている一方で、家族の話し合いがない等が約2割いることから一層の推進が必要。

事業者等の責務や違法民泊防止についての意見があった。法の趣旨も踏まえ義務規定に修正。違法民泊の防止に関しては、制度周知を図り届出の促進に努め、指導監督等を適切に行っていく。

キャンパスが平成31年4月に開設予定。連携推進への考えは。

①平成30・31年の2年で補助を行う予定。駅舎に面した区道部分を拡幅する。②地域との交流や防災・減災への取組みを通じ、大学と区や区民の連携を深め、まちづくりを推進する。

票率が正確に議席数に反映しない小選挙区制は廃止すべき。国にも要望すること。

全国市区選挙管理委員会連合会を通じて分割解消を要望している。選挙制度の改廃は国会での議論が重要と考え、現段階で廃止の要望は考えていない。

は、幼児教育の無償化と待機児童解消、介護人材の確保などに取組む方針を明らかにした。この方針に対する区の所見は。

子育てや介護等現役世代の不安の解消を図るもので、施策の方向性は同様と認識している。

委員会の動き

新宿区総合計画の基本的事項の議案や指定管理者の指定などを可決

総務区民委員会

● 今定例会では、補正予算など議案22件及び継続中の陳情1件の審査を行いました。

● 第61号議案の「新宿区総合計画の基本的な事項について」は、総務区民委員会と環境建設委員会の連合審査会を10年ぶりに行い質疑しました。

● 「新宿区総合計画の基本的事項」、「議員報酬等の一部を改正する条例」、「区長及び副区長の給与等の一部を改正する条例」3件及び関連補正予算1件は賛成多数で、その他の議案は、全員賛成で可決しました。

● 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情は、継続審査とし

● 今定例会では、議案6件と陳情8件を審査し、5件の報告を受け質疑を行いました。

● 「新宿区住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例」など議案5件は全員賛成で可決しました。

● 新規付託の陳情2件は審査未了とし、他6件は継続審査としました。

● 10月25、27日に地方都市視察を行い、山口県宇部市では「はつらつポイント制度」等について、福岡県北九州市では介護ロボットの導入について、京都府京都

● 今定例会では、議案2件を審査し、「新宿区立リサイクル活動センター等の指定管理者の指定などを可決

● 環境建設委員会

「リサイクル資源を活用した優勝メダルの制作」について、説明を受け質疑を行いました。

● 継続審査中の2件の陳情は、いずれも継続審査としました。

● 11月13、15日に地方都市視察を行い、兵庫県神戸市では「公営住宅を活用した定住促進策」、大阪市天王寺公園では「天王寺公園における民間活力導入の取り組み」、京都府京都市では

新宿区立リサイクル活動センター等の指定管理者の指定などを可決

環境建設委員会

● 今定例会では、議案2件を審査し、「新宿区立リサイクル活動センター等の指定管理者の指定」について

● 11月13、15日に地方都市視察を行い、兵庫県神戸市では「公営住宅を活用した定住促進策」、大阪市天王寺公園では「天王寺公園における民間活力導入の取り組み」、京都府京都市では



兵庫県 神戸市

指定管理者の指定などの議案を可決

文教子ども家庭委員会

● 今定例会では、補正予算など議案8件を審査し、可決。4件の報告を受け質疑を行いました。

● 「公の施設の指定管理者の指定について」の議案では、公募に1者しか応募がない施設が増えてきたなかで、事業者の質をどう担保するのか等、活発な質疑を行いました。

● 10月25、27日に、福岡県小郡市「図書館行政について」、広島県広島市立藤の木小学校「タブレットを活用した教育の取り組みについて」、兵庫県明石市



福岡県 小郡市

避難所(区立富久小学校)整備に関する陳情を審査

防災等安全対策特別委員会

● 今定例会では、継続審査となっている「避難所(区立富久小学校)整備に関する陳情」の審査を行い、引き続き継続審査としました。

● 10月17日に、「上落合防災活動拠点」を視察しました。区内の各防災倉庫における備蓄物資の配置状況や管理方法などについて、説明を受け質疑を行いました。

● 11月21日に、みなみもと町公園の地下に設置されて

いる「南元町雨水調整池」及び公園周辺の「南元町幹線整備工事現場」を視察しました。近年、集中豪雨は頻繁に発生し「都市型水害」をもたらしています。浸水被害を軽減し、下水道施設の能力を補充する役割をもつ雨水調整池の機能などについて、説明を受け質疑を行いました。

区議会ICT化など議会改革について

自治・議会・行財政改革等特別委員会

● 今定例会では、「区議会ICT化に向けて」について、理事者から説明を受け質疑を行うとともに、議会改革に向けて各委員の意見交換を行いました。

● これまでペーパーレス化へ向けた端末機器の導入などについて議論し、視察等も行ってきました。実施へ向け、改めてICT化で何が変わるのか②区議会ICT化に向けた課題③区議会ICT化導入に向けたスケジュールの

夏目漱石記念施設整備基金積立金の補正予算を可決

オリンピック・パラリンピック文化観光等特別委員会

● 今定例会では、議案の補正予算2件を審査し、6件の報告を受け質疑を行いました。

● 補正予算に関して「現在の夏目漱石記念施設整備基金の寄附状況」や「漱石山房記念館開館後の問題点や今後の課題」などについて質疑を行いました。この補正予算は全員賛成で可決しました。

● ①新宿区基本計画(案)について

● ②新宿区立漱石山房記念館運営学術委員会の設置及び

開催報告について

③平成29年度第2回新宿区東京2020大会区民協議会の開催について

④東京2020オリンピック・パラリンピック1000日前記念イベントの開催について

⑤新宿クリエイティブ・フェスタ2017の実績報告について

⑥平成29年度新宿ものづくりマイスター「技の名匠」の認定及び新宿区優良企業表彰について

それぞれ報告を受け質疑を行いました。

皆様から託された 請願・陳情の審議結果

審議未了 2件

□ (仮称)新宿区住宅宿泊事業の適正な運営に関する条例の制定に関する陳情 [福祉健康委員会]

□ 新宿区における住宅宿泊事業法に関する条例制定 [福祉健康委員会]

議員研修会を開催しました

「認知症サポーター養成講座」

11月28日、新宿区高齢者支援課職員を講師に迎え議員研修会を実施しました。新宿区の認知症施策の現状、認知症への対応及び支援について、現場の具体例を踏まえたり、寸劇を交えたりした、わかりやすい講座でした。

新宿区議会は、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでまいります。



会派の名称変更

● 「民進党・無所属クラブ」は、1月1日付で「立憲民主党・無所属クラブ」に名称変更しました。

あとがき

あけましておめでとうございます。謹んで皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

今年も区議会を身近に感じていただけたよう、読みやすい紙面づくりに努力してまいります。

本紙についてのご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。

編集委員

- 佐原 たけし
- 中村 しんいち
- 桑原 羊平
- 北島 としあき
- 川村 のりあき
- 三雲 崇正
- ふじ川 たかし